

## ■ シラン系 IZW.Shield（標準仕様） 施工要領書（手順書）

### 1. 事前準備（塗布前日迄に実施）

#### 塗布面の目視確認

塗布対象コンクリートの状況の確認を行い、別途補修（ジャンカや漏水が発生しているようなひび割れ補修等）が必要ないかを確認する。

#### 塗布量確認

**塗布量決定の目安となる塗布前の現場透水量試験を行い、標準塗布量で良いかの判断を行う。**試験箇所は現地で打合せ決定し、**試験箇所を詳細に記録する。**

コンクリート構造物は現場打設状況や劣化状況により、表層部の空隙率が相違します。標準塗布量は $0.24 \text{ l/m}^2$ ですが、あらかじめ試験塗布範囲において塗布量の調整をしてください。

#### 施工時期

新設コンクリートは強度推定調査終了後か脱型後、工事管理者と打ち合わせ、指示をうけ着工日を決める。

#### 施工面区画分け

塗布対象面積を設計図書や現場において確認し、塗布能力と日程を確認し、施工計画を作成し元請けに提出する。なお、施工対象を区画分けして塗布量を順守して施工を行い、終日全工程完了を順守する。

#### 湿り、雨天 注意

**IZW.Shield塗布後、2時間以内に雨天などで水が掛からないように段取りをする。**  
万が一、塗布後2時間以内に塗布面が濡れてしまった場合は乾燥後に塗布量 $0.24 \text{ l/m}^2$ を順守してIZW.Shieldを、もう一度塗布しなおす。

### 2. 事前準備（塗布当日に実施）

#### 清掃

施工面の施工障害物等を移動、除去して清掃する。（**清掃は別途**）

#### 洗浄

必要があれば高圧洗浄する。（**高圧洗浄は別途**）

#### 養生

必要があれば、鋼製建具・ガラス・手摺・樋等の養生する。  
必要があれば、周辺の車両の移動や車両にカバー等養生する。  
（塗装工事と同様の飛散対策が必要）（**養生は別途**）

### 3. 施工

#### IZW.Shield塗布

触診、目視でコンクリート表面の乾きを確認し、濡れ色・湿り気がある場合、乾燥時間を設け、 $300\text{m}^2$ 以内/1区画を基本に乾燥を確認してから塗布する。（特に含水率は規定していません）

IZW.Shieldは、原液をエアレスやローラー・刷毛などを使用し、均等に塗布する。

標準塗布量は $0.24\text{L/m}^2$ ですが、事前に協議決定した塗布量とする。

塗布回数は標準的に1回、コンクリートの浸み込み具合によって現場で判断する。

液だれする場合は、2回から3回に分けて少量ずつ塗り重ねる。

塗り重ねは連続作業で行い終日塗布完了する。

#### 塗布後確認

（現場透水量を確認する場合）

**塗布翌日以降に**事前に試験を実施した同じ箇所を、**現場透水量試験**を行い結果を記録する。

（**塗り忘れの確認のみの場合**）

**塗布翌日以降に水掛け試験**を行い、結果を記録する。

#### 片付け 確認

IZW.Shieldの施工が完了したら、後片付けを行う。  
使用した機械や道具は塗料用・ラッカー/シンナーでよく洗う。  
撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄する。  
養生材撤去後の部位に材料が付着している場合は、即拭き掃除をする。  
不備がないか点検を行う。元請けの検査をうける。

### 4. 終了 備考

#### 留意点

IZW.Shieldは原液で使用する。  
ガラスや金属類、塩などを養生する。  
強風時に施工する時は材料が飛散するので必ず対策する。  
施工面の温度が摂氏-40℃以下、40℃以上の時は施工しない。  
材料の保管は密封し、直射日光・火気を避け、暗所で保管する。  
開封後は速やかに使い切る。子供の届く所に置かない。

#### 取扱作業注意事項

容器から出し入れする時はこぼれないようにする。  
取扱中は保護手袋を着用し作業状況に応じ保護メガネ保護マスク等を着用する。  
取扱後は手洗いや、うがいをする。  
目に入らないようにする。  
材料を飲み込まない。  
散布中の材料を吸い込まないように注意する。

#### 応急措置

皮膚についた場合は直ちにふき取り、大量の水でよく洗い流す。  
かゆみや炎症が発生した場合は直ちに医師の診断を受ける。  
目に入ったら直ちに清水で十分に洗浄して、眼科医の診断を受ける。  
散布中に気分が悪くなったり、頭痛等の体の異常を感じた場合、直ちに散布を中止して、体を休め、医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合は多量の水又は牛乳を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

泉建設工業株式会社

〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1094-6

TEL : 0585-45-4127

FAX : 0585-45-8346

## ■ IZW.Shield（強化仕様）施工要領書（手順書）

### 1. 事前準備（塗布前日迄に実施） IZW.Guard

#### 塗布面の目視確認

塗布対象コンクリートの状況の確認を行い、別途補修（ジャンカや漏水が発生しているようなひび割れ補修等）が必要ないかを確認する。

#### 塗布量確認

**塗布量決定の目安となる塗布前の現場透水量試験を行い、標準塗布量で良いかの判断を行う。**試験箇所は現地で打合せ決定し、**試験箇所を詳細に記録する。**

コンクリート構造物は現場打設状況や劣化状況により、表層部の空隙率が相違します。IZW.Guardの標準塗布量は $0.2\text{ l/m}^2$ ですが、あらかじめ試験塗布範囲において塗布量の調整をしてください。

#### 施工時期

新設コンクリートは強度推定調査終了後か脱型後、工事管理者と打ち合わせ、指示をうけ着工日を決める。

#### 施工面区画分け

塗布対象面積を設計図書や現場において確認し、塗布能力と日程を確認し、施工計画を作成し元請けに提出する。なお、施工対象を区画分けして塗布量を順守して施工を行い、全工程1時間の完了を順守する。

### 2. 事前準備（塗布当日に実施） IZW.Guard

#### 清掃

施工面の施工障害物等を移動、除去して清掃する。（**清掃は別途**）

#### 洗浄

新設・既設コンクリート共にレイタンスと反応して部分的に白化する可能性があるため、高圧洗浄でレイタンスを除去するか、丁寧に散水しながらブラシ洗浄する。（**洗浄は別途**）

IZW.Guard塗布前に酸性洗浄をしない。散水洗浄した場合は、散水して中和する。中和していないところへIZW.Guardを塗布すると白く変色し、除去できない場合があるので注意する。

#### 養生

必要があれば、鋼製建具・ガラス・手摺・樋等の養生する。

必要があれば、周辺の車両の移動や車両にカバー等養生する。

（塗装工事と同様の飛散対策が必要）（**養生は別途**）

**IZW.Guardが付着し乾燥すると白く変色し完全に除去できないので慎重に飛散防止対策を行う。**

#### 他部材の隙間

他部材（塩ビ管・鋼管・鉄筋など）がコンクリートを貫通するなどして縁が切れている端末コンクリートとの境目には、止水効果はないので別途対策が必要。

### 3. 施工 IZW.Guard

#### IZW.Guard塗布

300㎡以内/1区画を基本的にIZW.Guardの原液をエアレスやローラー・刷毛などを使用し、均等に塗布する。

標準塗布量は $0.2\text{ L/m}^2$ ですが、事前に協議決定した塗布量とする。

塗布回数は標準的に1回、コンクリートの浸み込み具合によって現場で判断する。

液だれする場合は、2回から3回に分けて少量ずつ塗り重ねる。

塗り重ねは連続作業で行い終日塗布完了する。

**IZW.Guardを塗布した後は滑りやすいので、転倒転落に嚴重注意する。**

#### 塗布後確認

（塗り忘れの確認のみの場合）

塗り忘れの確認を行う場合は、着色タイプ（オプション）を使用し、結果を記録する。

#### 片付け 確認

IZW.Guardの施工が完了したら、後片付けを行う。  
使用した機械や道具は塗料用・ラッカー/シンナーでよく洗う。  
撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄する。  
養生材撤去後の部位に材料が付着している場合は、即拭き掃除をする。  
不備がないか点検を行う。元請けの検査をうける。

### 4. 事前準備（塗布前日迄に実施） IZW.Shield

#### 湿り、雨天 注意

**IZW.Shield塗布後、2時間以内に雨天などで水が掛からないように段取りをする。**  
万が一、塗布後2時間以内に塗布面が濡れてしまった場合は乾燥後に塗布量**0.2 ℓ /㎡**を順守してIZW.Shieldを、もう一度塗布しなおす。

### 5. 事前準備（塗布当日に実施） IZW.Shield

#### 養生

必要があれば、鋼製建具・ガラス・手摺・樋等の養生する。  
必要があれば、周辺の車両の移動や車両にカバー等養生する。  
(塗装工事と同様の飛散対策が必要) **(養生は別途)**

### 6. 施工 IZW.Shield

#### IZW.Shield塗布

触診、目視でコンクリート表面の乾きを確認し、濡れ色・湿り気がある場合、乾燥時間を設け、300㎡以内/1区画を基本に乾燥を確認してから塗布する。(特に含水率は規定していません)  
IZW.Shieldは、原液をエアレスやローラー・刷毛などを使用し、均等に塗布する。  
標準塗布量は0.2 ℓ /㎡ですが、事前に協議決定した塗布量とする。  
塗布回数は標準的に1回、コンクリートの浸み込み具合によって現場で判断する。  
液だれする場合は、2回から3回に分けて少量ずつ塗り重ねる。  
塗り重ねは連続作業で行い終日塗布完了する。

#### 塗布後確認

(現場透水量を確認する場合)  
**塗布翌日以降に事前に試験を実施した同じ箇所で、現場透水量試験を行い結果を記録する。**  
(塗り忘れの確認のみの場合)  
**塗布翌日以降に水掛け試験を行い、結果を記録する。**

#### 片付け 確認

IZW.Shieldの施工が完了したら、後片付けを行う。  
使用した機械や道具は塗料用・ラッカー/シンナーでよく洗う。  
撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄する。  
養生材撤去後の部位に材料が付着している場合は、即拭き掃除をする。  
不備がないか点検を行う。元請けの検査をうける。

### 7. 終了 備考

#### 留意点

IZW.Shield、IZW.Guardは原液で使用する。  
ガラスや金属類、塩などを養生する。  
強風時に施工する時は材料が飛散するので必ず対策する。  
施工面の温度が摂氏-10℃以下、40℃以上の時は施工しない。  
材料の保管は密封し、直射日光・火気を避け、暗所で保管する。  
開封後は速やかに使い切る。子供の届く所に置かない。

**取扱作業注意事項**

容器から出し入れする時はこぼれないようにする。  
取扱中は保護手袋を着用し作業状況に応じ保護メガネ保護マスク等を着用する。  
取扱後は手洗いや、うがいをする。  
目に入らないようにする。  
材料を飲み込まない。  
散布中の材料を吸い込まないように注意する。

**応急措置**

皮膚についた場合は直ちにふき取り、大量の水でよく洗い流す。  
かゆみや炎症が発生した場合は直ちに医師の診断を受ける。  
目に入ったら直ちに清水で十分に洗浄して、眼科医の診断を受ける。  
散布中に気分が悪くなったり、頭痛等の体の異常を感じた場合、直ちに散布を中止して、体を休め、医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合は多量の水又は牛乳を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

**泉建設工業株式会社****〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1094-6****TEL : 0585-45-4127****FAX : 0585-45-8346**

## ■ けい酸塩系 IZW.Guard 施工要領書 (手順書)

### 1. 事前準備 (塗布前日迄に実施)

#### 塗布面の目視確認

塗布対象コンクリートの状況の確認を行い、別途補修（ジャンカや漏水が発生しているようなひび割れ補修等）が必要ないかを確認する。

#### 塗布量確認

**塗布量決定の目安となる塗布前の現場透水量試験を行い、標準塗布量で良いかの判断を行う。**試験箇所は現地で打合せ決定し、**試験箇所を詳細に記録する。**

コンクリート構造物は現場打設状況や劣化状況により、表層部の空隙率が相違します。標準塗布量は0.2 l/m<sup>2</sup> ですが、あらかじめ試験塗布範囲において塗布量の調整をしてください。

#### 施工時期

新設コンクリートは強度推定調査終了後か脱型後、工事管理者と打ち合わせ、指示をうけ着工日を決める。

#### 施工面区画分け

塗布対象面積を設計図書や現場において確認し、塗布能力と日程を確認し、施工計画を作成し元請けに提出する。なお、施工対象を区画分けして塗布量を順守して施工を行い、全工程1時間の完了を順守する。

### 2. 事前準備 (塗布当日に実施)

#### 清掃

施工面の施工障害物等を移動、除去して清掃する。**(清掃は別途)**

#### 洗浄

新設・既設コンクリート共にレイタンスと反応して部分的に白化する可能性があるため、高圧洗浄でレイタンスを除去するか、丁寧に散水しながらブラシ洗浄する。**(洗浄は別途)**

IZW.Guard塗布前に酸性洗浄をしない。散水洗浄した場合は、散水して中和する。

中和していないところへIZW.Guardを塗布すると白く変色し、除去できない場合があるので注意する。

#### 養生

必要があれば、鋼製建具・ガラス・手摺・樋等の養生する。

必要があれば、周辺の車両の移動や車両にカバー等養生する。

**(塗装工事と同様の飛散対策が必要) (養生は別途)**

**IZW.Guardが付着し乾燥すると白く変色し完全に除去できないので慎重に飛散防止対策を行う。**

#### 他部材の隙間

他部材（塩ビ管・鋼管・鉄筋など）がコンクリートを貫通するなどして縁が切れている端末コンクリートとの境目には、止水効果はないので別途対策が必要。

### 3. 施工

#### IZW.Guard塗布

300m<sup>2</sup>以内/1区画を基本にIZW.Guardの原液をエアレスやローラー・刷毛などを使用し、均等に塗布する。

標準塗布量は0.2L/m<sup>2</sup>ですが、事前に協議決定した塗布量とする。

風がある場合は、スタイロフォーム等で風よけを行う。

塗布回数は標準的に1回、コンクリートの浸み込み具合によって現場で判断する。

吸い込みが激しい場合は、連続作業で同量の追加塗布をする。

吸い込みの少ない場合は、連続作業で数回に分けて重ね塗布する。

塗布面を歩行する場合のみ、防滑を目的とした、「最終散水洗浄」をする。

#### 最終散水洗浄

20～30分程ほど浸透を待つ。  
散布したところが乾燥するようなところには、少量の水を掛けながら乾燥させないように監視する。  
概ね目視でIZW.Guardの浸透を確認したら、多量散水しながらポリッシャーやデッキブラシで表面のヌメリを丁寧に擦り洗い除去する。  
※ シール・ウレタンを施工する部位は剥離防止のため多量散水しながらデッキブラシ等で念入りに擦り洗いしておく。  
完了したら、熱可塑性樹脂質の駐車場ナンバーを、バーナー熱溶着する部位は、多量散水しながらもう一

#### 塗布後確認

(現場透水量を確認する場合)  
塗布28日以上経過後に事前に試験を実施した同じ箇所で、現場透水量試験を行い結果を記録する。  
(塗り忘れの確認のみの場合)

#### 片付け 確認

IZW.Guardの施工が完了したら、後片付けを行う。  
使用した機械や道具は塗料用・ラッカー/シンナーでよく洗う。  
撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄する。  
養生材撤去後の部位に材料が付着している場合は、即拭き掃除をする。  
不備がないか点検を行う。元請けの検査をうける。

### 4. 終了 備考

#### 留意点

IZW.Guardは原液で使用する。  
ガラスや金属類、塩などを養生する。  
強風時に施工する時は材料が飛散するので必ず対策する。  
施工面の温度が摂氏-10℃以下、40℃以上の時は施工しない。  
材料の保管は密封し、直射日光・火気を避け、暗所で保管する。  
開封後は速やかに使い切る。子供の届く所に置かない。

#### 取扱作業注意事項

容器から出し入れする時はこぼれないようにする。  
取扱中は保護手袋を着用し作業状況に応じ保護メガネ保護マスク等を着用する。  
取扱後は手洗いや、うがいをする。  
目に入らないようにする。  
材料を飲み込まない。  
散布中の材料を吸い込まないように注意する。

#### 応急措置

皮膚についた場合は直ちにふき取り、大量の水でよく洗い流す。  
かゆみや炎症が発生した場合は直ちに医師の診断を受ける。  
目に入ったら直ちに清水で十分に洗浄して、眼科医の診断を受ける。  
散布中に気分が悪くなったり、頭痛等の体の異常を感じた場合、直ちに散布を中止して、体を休め、医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合は多量の水又は牛乳を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。

泉建設工業株式会社

〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1094-6

TEL : 0585-45-4127

FAX : 0585-45-8346